

03

「医歯学教育システム 研究センター10周年式典・ シンポジウム」を開催

「明 日の医療・歯科医療を拓く医師・
歯科医師の育成を目指して」と
題した医歯学教育システム研究センター
10周年式典・シンポジウムが2012年7
月に開かれました。

本センターは、「良質な医師、歯科医
師の養成を通じた社会への貢献」を目
的として設置された全国共同利用施設
で、これまで医学・歯学教育のモデル
コア・カリキュラムおよび医学・歯学
教育における学習知識と技能・態度に関
する到達度評価法の調査研究で多くの
実績を挙げています。記念式典では、
大山庄長の挨拶に続き、文部科学省の
村田善則医学教育課長、厚生労働省の
田原克志医事課長、医療系大学間共用
試験実施評価機構の福田康一郎副理
事長から祝辞が述べられました。

続いて開催された記念シンポジウムで
は村田医学教育課長の講演、日本医学
教育学会の伴信太郎理事長、日本歯科
医学教育学会の俣木志朗理事長、ア
メリカ医師国家試験機関のアン・ジョ
ブ博士、韓国釜山国立大学病院の金海
圭教授、本学の奈良医歯学教育システ
ム研究センター長、荒木同副センター長
から、我が国の医学・歯学教育の現状、
医学教育の国際認証、医療教育におけ
る質保証の改善、釜山大学医学部にお
けるシミュレーション教育および韓国医
師国家試験への対応などについて、講
演が行われました。シンポジウムには、
医学・歯学教育関係者が参加、講演者
と活発な質疑応答が行われました。



全国から医歯学教育関係者が参加した

02

教職員FD研修を開催 大学の現状への 理解深める

2 012年6月2日、鈴木章夫記念
講堂にて、教職員FD研修が
開催され、講堂の収容定員を超える
560人余の教職員が出席しました。本
研修は、教職員が大学の取り組みや現
状について理解を深め、一丸となって
大学が掲げる目標達成に向かって業務
を行っていくために実施しています。

大山庄長の開会挨拶の後、「第二期
中期目標・中期計画期間における中間
評価に向けて」と題し、内部質保証、
企画・国際交流、教育、研究、診療、
管理・運営などの取り組みについて、各
担当理事、副学長、病院長より説明が
ありました。続いて、森田理事(研究担
当)から、「研究活動に係る不正行為の
防止」について説明があり、大学教職
員として自覚すべき研究者の行動規範
や研究に必要な各手続きなどの再認識
がなされました。

午後の講演は、公益財団法人大学基
準協会の鈴木典比古専務理事による
「医・歯・看護系教育における学士力
教育、教育の質保証、教育の国際化そ
して認証評価-統合的フレームワークの
構築-」で始まり、多くの教職員が熱心
にメモを取っている姿が見られました。
読売新聞の富所浩介氏による、「大学
広報の在り方について-大学の認知度
の向上に向けて-」と題した講演では、報
道関係者の視点から大学の情報発信な
どについて様々なアドバイスがありま
した。参加した教職員からは、大変有意
義だったとの声が多く聞かれました。



熱心にメモを取る教職員の姿が見られた

01

2012年度からスタートした 医歯学融合教育の 開講式を開催

「医 歯学融合教育の開講式が2012
年4月19日、鈴木章夫記念講
堂(M&Dタワー2階)で行われ、第1
期生となる医学科、歯学科の2年生156
人のほか、多くの役職員が出席しました。

「医歯学融合教育」は、医学科と歯
学科の学生が卒業時に獲得しておくべ
き知識・技能のうち、共通かつ共同で
学ぶことにより学習効果が高まるもの
や、将来の包括的医療提供のための基
盤となるものを6年間を通じて様々な学
習段階で教え合いながら学ばせるもの
で、医学部と歯学部を併せ持つ医療系
総合大学としての特色を生かした取り組
みです。本学では、2009年2月に医歯学
融合教育支援センターを設置。ハーバ
ード大学の助言・協力などを得て、医歯学
融合教育カリキュラムをまとめました。

開講式では、大山庄長から、「医学・
歯学を横断した教育カリキュラムを通じ
て、包括的な視野と知識を持つ医療人
を育成し、社会に貢献したい」との式
辞がありました。続いて、文部科学省
高等教育局の村田善則医学教育課長か
ら、「高齢化社会に対応する包括的医
療教育の推進のため、医歯学融合教育
を学ぶ第1期生となる学生に期待する」
との祝辞がありました。その後、本学
医歯学融合教育支援センターの田中セ
ンター長からの、医歯学融合カリキュ
ラム開発の経緯およびその趣旨・目的
などについての説明に続き、医歯学融
合教育の未来をテーマにシンポジウムが
行われました。



1期生156人のほか多くの関係者が出席した

8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月
26 2	25	17	6	7 2	25 21	14 12	24 20	19 19 12 10 9
20	23 22	12 11	27	24 7 7	1	27	24 7 7	1
20	23	18 17 14	20					



高大連携「オリエンテーション」の様子

8月 高大連携「オリエンテーション」開始
第4回国際サマープログラム2012 (ISPP2012) (29日)
内容:本誌P6を参照

7月 医学教育システム研究センター10周年記念式典・シンポジウム
高大連携(都立日比谷高等学校(7月19日)、県立土浦第一高等学校(8月16日)、県立千葉高等学校(12月14日)、出張講義:11月29日、筑波大学附属駒場高等学校(12月25日)、オープンキャンパス(26日)

6月 教養部「夏の公開講座」開始

5月 入学式
大学院医歯学総合研究科を改組
大学院入学式
新入生オリエンテーション(12日) 於:箱根町湯本富士屋ホテル
医学融合教育開講式 内容:本誌P25を参照
プレスリリース「2つの作用で骨の健康を守るたんぱく質を発見」
骨の「形成」と「破壊」を同時にコントロール「高柳広教授」
留学生オリエンテーション
プレスリリース「骨粗鬆症の骨を作るメカニズムの発見」
野田政樹教授

4月 プレスリリース「胎児期のグルタミン酸受容体の過剰な活性化、脳の形成異常を引き起こす」
田中光一教授
プレスリリース「コキビの原因「アクネ菌」が難病の原因細菌であることを解明」江石義信教授
難治疾患研究所オープンキャンパス
教職員FD研修 内容:本誌P25を参照
大学院説明会

3月 プレスリリース「東京医科歯科大学とソニー医療分野での包括連携協定に基づくプログラムを開始」(共同発表:東京医科歯科大学、ソニー株式会社)
難治疾患研究所オープンキャンパス

2月 プレスリリース「がんの進行を制御する仕組みを解明」吉田清嗣准教授
難治疾患研究所市民公開講座「最先端生命科学講座」
プレスリリース「好中球の過剰反応を抑える鍵になる分子が明らかに」森尾友宏准教授
災害対策訓練 於:医学部附属病院
プレスリリース「1個の幹細胞から、傷ついた大腸の再生に成功」渡辺守教授
学位記授与式
卒業式

1月 プレスリリース「東京医科歯科大学×順天堂大学 餅つき大会(留学生交流)」(東京医科歯科大学×順天堂大学)
プレスリリース「がんの進行を制御する仕組みを解明」吉田清嗣准教授
難治疾患研究所市民公開講座「最先端生命科学講座」
シリーズ第3回(第4回2012年11月16日、第5回2013年2月22日)
プレスリリース「好中球の過剰反応を抑える鍵になる分子が明らかに」森尾友宏准教授
災害対策訓練 於:医学部附属病院
プレスリリース「1個の幹細胞から、傷ついた大腸の再生に成功」渡辺守教授
学位記授与式
卒業式

12月 生体材料工学研究所60周年記念式典・講演
ご遺骨返還式および感謝状贈呈式
プレスリリース「筋萎縮性側索硬化症(ALS)の原因究明につながるサルモエルの作製」横田隆徳教授
第6回グローバルCOE国際シンポジウム(25日)
第7回11月12日、14日、第8回2013年2月3日、4日
明治大学図書館との相互利用を開始
餅つき大会(留学生交流)(東京医科歯科大学×順天堂大学)
プレスリリース「がんの進行を制御する仕組みを解明」吉田清嗣准教授
難治疾患研究所市民公開講座「最先端生命科学講座」
シリーズ第3回(第4回2012年11月16日、第5回2013年2月22日)
プレスリリース「好中球の過剰反応を抑える鍵になる分子が明らかに」森尾友宏准教授
災害対策訓練 於:医学部附属病院
プレスリリース「1個の幹細胞から、傷ついた大腸の再生に成功」渡辺守教授
学位記授与式
卒業式



入学者宣誓を行う学生代表



生体材料工学研究所60周年記念式典で挨拶を行う大田学長

News

新たに11人が教授に採用、昇任
(2012年4月1日～2013年2月28日の人事)

- 原田清 教授 (2012年4月1日採用)
大学院医歯学総合研究科 顎顔面外科学分野
- 伊藤南 教授 (2012年4月1日採用)
大学院保健衛生学研究科 生体機能支援システム学分野
- 沢辺元司 教授 (2012年4月1日採用)
大学院保健衛生学研究科 分子病態検査学分野
- 窪田哲朗 教授 (2012年4月1日昇任)
大学院保健衛生学研究科 生体防御検査学分野
- 三宅智 教授 (2012年5月1日採用)
大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野
- 荒川真一 教授 (2012年7月1日昇任)
大学院医歯学総合研究科 生涯口腔保健衛生学分野
- 緒方泰子 教授 (2012年8月1日採用)
大学院保健衛生学研究科 高齢者看護・ケアシステム開発学分野
- 宮崎泰成 教授 (2012年8月1日昇任)
保健管理センター 保健管理センター長
- 前原健寿 教授 (2012年11月1日昇任)
大学院医歯学総合研究科 脳神経機能外科学分野
- 高田和生 教授 (2012年12月1日昇任)
国際交流センター グローバルキャリア支援室長
医学融合教育支援センター 兼務
- 石川俊平 教授 (2013年1月1日採用)
難治疾患研究所 ゲノム病理学分野

2月	1月	12月	11月	10月	9月
22 6	23	21 19 15	7	25	30 27 26 18 14 13
12 12	11 3	1	24 20		



東京コンソーシアムキックオフシンポジウムの様子

2月 学位記授与式
実験動物憲章祭
第1回ママさんドクター・リタイン支援プログラム(内科編) (12日、第2回2013年2月25日、3月1日) (産婦人科編) (15日、19日)
第2回2013年2月25日、3月1日 (産婦人科編) (15日、19日)
大学院公開講座「健康を考える」開始
プレスリリース「東京医科歯科大学と大日本印刷は共同で日本人に多い「病的近視」の原因が眼球の変形や異常にあることを3D-MRI画像解析により解明」(共同発表:東京医科歯科大学、大日本印刷株式会社)
内容:本誌P18を参照
創立記念日
第7回四大学連合文化講演会(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・二橋大学)
第61回お茶の水祭(14日)
第3回ホームカミングフェスティバル 内容:本誌P26を参照
解剖体追悼式 於:築地本願寺
大学院入学式(留学生)
第13回体験型公開講座「健康で長生きするための健康チェック」(28日)
お月見の会(留学生交流) (東京医科歯科大学×順天堂大学)
教養部公開セミナー「健康週間獲得講座」開始

1月 プレスリリース「細胞内分解オートファジーの鍵となる分子を発見」
水島昇 客員教授
ご遺骨返還式および感謝状贈呈式
大学院入試センター試験(20日)
「東京コンソーシアム」を基盤とした大学院疾患予防科学コース設立
アジア・アフリカリサーチフォーラム(24日) 内容:本誌P26を参照
餅つき大会(留学生交流) (東京医科歯科大学×順天堂大学)
プレスリリース「アレルギーを抑える新たな仕組みを発見」(鳥山一教授)



お月見の会でお手前を披露する本学茶道部員

05

アジア・アフリカ
リサーチフォーラム
AARF2013を開催

2 013年1月23日～24日に、鈴木章夫記念講堂(M&Dタワー2階)にて「新興・再興感染症に関するアジア・アフリカリサーチフォーラムAARF2013」が開催されました。

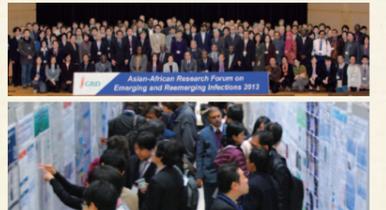
本フォーラムは、文部科学省「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム」(J-GRID)の年次総会として行われているもので、J-GRIDでの研究成果の発表と情報交換を目的に毎年開催されています。今回はアフリカとアジアの10カ国からの参加者を含め323人が参加しました。

永井美之 J-GRID プログラムディレクター、Mr. Nana Kwesi Arhin (駐日ガーナ臨時代理大使)、大田学長の挨拶に続いて、各セッションが行われました。

今回のAARFは本学のガーナ拠点が主管ということもあり、アフリカの感染症に関する課題を取り上げました。ここでは、(1)アフリカの顧みられない熱帯病と、(2)最も危険なウイルス感染症(カテゴリーI)をテーマに、北里研究所の大村智先生、アメリカ国立アレルギー感染症研究所のHeinz Feldman博士による、特別セッションが行われました。

2日間の中で、セッション、ワークショップ、ポスター発表など、各国の状況を踏まえた研究成果発表が行われ、活発な議論が展開されました。

1日目終了後には、同タワー26階のファカルティラウンジで懇親会が開催され、各拠点関係者の交流が深まるなど、大変有意義なものとなりました。



国内外から320人が参加(上)。ポスター発表(下)

04

創立記念日行事および
ホームカミングデイを開催

本 学では、2012年10月12日の創立記念日に記念行事を、また、10月14日に第3回となるホームカミングデイを行いました。12日の創立記念日は、昨年に引き続き、自校愛を育むための「マイキャンパスプロジェクト」として、役職員が大学構内と周辺道路の清掃を行いました。朝早くから、大田学長、伊藤理事、須田理事をはじめ多くの教職員がこのプロジェクトのために揃えたTシャツを着用し、草取りやゴミの除去に汗を流しました。

また、湯島キャンパスに緑を増やす「癒しの緑づくりプロジェクト」として、卒業50年を迎える第10期生同期会からしだれ桜2本が寄贈されました。抜けるような秋空が広がる中、大田学長が第10期生同期会代表の3人とともに、キャンパス内に植樹しました。午後には永年勤続者表彰式を行い、長年大学の発展に貢献された職員15人を表彰しました。



校内清掃を行った大田学長ら



同窓生と一緒に植樹を行う大田学長



第10期生同期会植樹記念の記念撮影

14日のホームカミングデイでは、鈴木章夫記念講堂において、青木保国立新美術館長による「文化力の時代-21世紀の日本とアジア」と題する講演が行われ、役職員、名誉教授、同窓生、学生など多くの関係者が熱心に聴講しました。続いて、職員のモチベーションの高揚のための「やる気倍増プロジェクト」として、教育実践に顕著な成果を挙げた教員2人に対しベストティーチャー賞、また、研究活動において優れた成果を挙げた教員2人に優秀研究賞を表彰し、大田学長より賞状と楯が授与されました。そして、本学基金への寄附者に対する感謝状贈呈、キャンパスツアーなどの後、M&Dタワーのファカルティラウンジにおいて、名誉教授および卒業50年以上の卒業生との懇談会が行われました。当時の思い出や本学のこれまでの変遷などについて和やかに懇談が行われ、一連の行事が締めくくられました。



講演を行う青木国立新美術館長



「ベストティーチャー賞」、「優秀研究賞」の受賞者



東京医科歯科大学基金銘板披露除幕式の様子